

# 鉄道ピクトリアル

2007年9月号 Vol.57 No.9 通巻No.793

<特集> ラッシュ帯の列車運行

■表紙 東急田園都市線に設定された準急列車……………編集部

たまブラザー 2007-7-3

キヤノンEOS-1N EF 400mm F5.6L 絞り f 5.6 タイム1/125 RDPⅢ+1増感

■グラフ

いつもの電車 いつものドア (1~7ページ)

……………岩田健司・杉崎健一・焼田 健・河原慶明・鈴木康弘  
……………竹内宗隆・成瀬伸夫・野田 寛・編集部

通勤スペシャルトレイン PICK UP (8ページ)

……………太田正行・坪井秋光・高瀬智嗣・編集部

\*

ラッシュ帯の列車運行を見る ……………構成:編集部… 25  
東京の大手民鉄 回想の通勤輸送シーン ……………構成:編集部… 28  
D51その一族—1115分の1の素顔(89) ……………構成:編集部… 34  
準軌道系連接車 東西の両雄—江ノ電と広電—…………構成:編集部… 36  
高架化・改良工事—各地の状況から…………… 40

\*

Pictorial Color Gallery 美濃の大名行列 ……………山中 茂… 73

〔小田急電鉄4000形/小田急電鉄LSE7004編成ロマンスカー  
50周年記念復元塗装/JR西日本 山陰線観光列車キハ47形  
「みずゝ潮形」/南阿蘇鉄道新形トロッコ列車/N700系が営  
業運転を開始—2007年7月1日JRグループダイヤ改正/三  
江線・越美北線全線復旧/JR通勤形電車の話題/中央線高架  
化事業で一部区間下り線の供用開始ほか〕……………76~84

トピック・フォト (各地・関東・中部・JR貨物・関西) …………… 85  
相模鉄道 車両の近況 ……………構成:大里信之… 92  
ミュンヘンの街を駆ける ……………堀切 邦生… 94  
近江鉄道探訪 ……………根本 幸男… 96

■本文

今月の話題:ラッシュ帯の列車運行 ……………編集部… 9  
ラッシュ帯の列車ダイヤを考察する ……………曾根 悟… 10  
ラッシュ帯列車ダイヤの高度化をめざして—頑健な列車ダイヤとは—  
……………富井 規雄… 18  
相模鉄道ラッシュ帯の列車運行を見る ……………大里 信之… 41  
東急田園都市線 混雑緩和に向けた取り組み ……………片桐 淳也… 42  
ラッシュ時間帯の列車運行雑感 ……………生方 良雄… 46

\*

JR東日本ATOS導入のあらまし ……………有澤 太一… 52  
ミュンヘン市電の歩き方 ……………堀切 邦生… 58  
近江鉄道探訪記 ……………根本 幸男… 66  
鉄道の話題 ……………編集部… 72  
東京都交通局 馬込車両検修場の概要 ……………富澤 一郎… 97  
私の鉄道人生75年史 第9回

再び本社車両課に勤務(その1) ……………里田 啓…102  
日本の連接車—路面電車編— ……………真鍋 裕司…106  
開館間近! 鉄道博物館リポート(第2回) ……………白川 淳…115  
京成電軌の四輪単車に新資料発見 ……………江原 光昭…116  
書評(527)『日本の都市と路面公共交通』 ……………和久田康雄…117  
6月のメモ帳 …………………………118  
読者短信・情報ファイル …………………………119  
後部車から …………………………123

ISSN0040-4047

Tetsudō pikutoriaru

今月の話題



カット:山本茂樹

## ラッシュ帯の列車運行

1960年代以降,大都市の鉄道需要は増加の一途をたどり,通勤・通学客が集中する朝ラッシュ帯の混雑は過酷を極め,社会の大きな問題としてクローズアップされていた。鉄道事業者も多大な努力を払い,輸送力増強をはじめとして,さまざまな対策を講じラッシュ帯の混雑緩和に努めたが,実情としては必ずしもいい成果を見出すことができない状況であった。

しかし,1990年前後から,快適通勤の実現に向けて,法制度の創設など行政の支援も本格化するとともに,鉄道網の整備,複々線化,信号保安など鉄道技術の発展,また一方では社会状況の変化による輸送需要の頭打ちといった側面もあり,混雑緩和が数値データ上で大きく改善されていった。東京の大手民鉄では,最混雑区間のピーク時1時間平均では,1970年当時は軒並み200%を上回っていたが,2005年度では200%を超える区間はなく,首都圏のJR線でも上野—御徒町間などで200%超の区間は見られるものの,混雑率は大きく改善されている。

20年ほど前に比べると,東京の鉄道は路線網にしても,輸送・運転の面でも利便性が大幅に向上したことは事実である。その反面,どうもアップした利便性が素直に実感できない部分も少なくないように思う。その一つとして慢性化するラッシュ時の列車遅延を挙げることができよう。その他にもラッシュ帯の列車運行をめぐるのは,従来大きく顧みられなかった事柄が近年は課題として出現しており 通勤輸送改善の観点も変化してきているように思われる。そうした改善施策の一例として,東急や東京メトロなどでは新たなラッシュ帯の列車運行形態を打ち出しており,その成果が目ざされている。

TETSUDŌTOSHO KANKŌKAI  
Oak Ochanomizu Bldg. Kanda Ogawamachi 3 8 Chiyodaku, Tokyo/Japan